

ゆりの木通信 34 号

会長挨拶

1985 年卒業 梶原香里

昨年に引き続き、会長を務めさせていただきます。
今年度は紫緑会にとっていろいろな意味で変化の年になり、そんな中、紫緑会会長を拝命しました。紫緑会全体のことを考える 2 年間となりそうです。役員の皆様に助けをいただきながら、何とか務めたいと考えています。
会員の皆様、何卒ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

2024 年度事業報告

- ゆりの木通信 33 号（印刷は最終号）発行
今年度よりヤマトのメール便が廃止され、印刷会社が提携郵便局との契約便に切り替えたため、発送料の値上げがあった。三つ折り定型封筒郵送として紫緑会事務局で発送していただき出費を抑えたが、予算を 8,380 円超過した。
紫緑会役員会で事情を勘案いただき承認を得た。
- メール三役会実施（2 月）
- 会員の連絡先把握（随時）

〈決算報告〉

項目	予算額	決算額	内 容
機関誌 （ゆりの木通信 33 号）	40,000	58,380	印刷費 24,500（A4 1 枚 500 部） 発送費用 33,880（110×308 通）
事務費 通信費	10,000	0	
合計	50,000	58,380	

2025 年度事業案

1. ゆりの木通信 紫緑会支部ページに掲載予定
2. 三役会実施
3. 会員の連絡先把握
4. 役員体制 変更なし
会長 梶原香里
副会長 藤善 将
事務局 草野佑介
紫緑会委員 森脇みなゑ

*** 今年度は支部予算がないため、予算案はなし**

—ゆりの木ひろば—

近況報告

1985 年卒業 鎌田由香

皆さま、ご無沙汰しております。鎌田（栗森）です。
私は昔から一度にひとつのことしかできず、これまで仕事や子育てに追われてバタバタと過ごしてきました。でも最近は家族もそれぞれ手を離れ、気がつけば自分自身もそろそろ仕事を締めくくる準備を考える時期になっていました。

今はデイサービスの管理者という立場で、若い方に事業所を安心して引き継いでもらえるように奮闘しています。事業所は香川県ののんびりした田舎にあって、送迎範囲には「日本のウユニ塩湖」と呼ばれる父母ヶ浜や天空の鳥居井、ニューヨークタイムズの表紙を飾った桜の名所・紫雲山などがあります。今年は瀬戸内国際芸術祭も開かれる予定で、地域の魅力もたくさんです。訪問先のお宅では、なんと五右衛門風呂に出会うこともありましたよ。

うちの事業所は定員 15 人で、1 日に 2 回転。運動を目的に通われる方が多いので、元気な利用者さんがほとんどです。ただ、悩みは人手不足。大規模で病院がバックにある施設なら経営も安定しますが、小さな事業所はなかなか厳しく、私も 20 年以上お給料が上がっていません。PT・OT さんの求人はもちろん、看護師さんや介護福祉士さんの確保も難しい状況です。地域全体を見ても、東南アジア出身の方や高齢の方が多く、小学校の統廃合も決まってしまいました。これからどうなっていくのか、不安になることもあります。

実は一度、廃業を真剣に考えたのですが、利用者さんから「ここに通い続けたい」と強い声をいただき、なんとか踏みとどまっています。デイケアでは決められたリハビリ時間がありますが、デイサービスではほんの少し。でも、うちでは自主トレーニングとして、マシンを使った筋トレや個別の歩行練習、階段の上り下りなどをしていただいています。レクリエーションをする時間はあまりないのですが、その分、利用者さん同士でゆっくりおしゃべりを楽しんでおられます。

長くご利用いただいた方々は、最期の時期には短期間のご入院や、ご家族のご事情により施設へ移られることがあります。ご本人様とご家族様が心から満足してご利用を終えられるよう、退職まで、もう少しだけお手伝いさせていただきます。